

富山市入札公告第44号

入札公告

次のとおり建設工事の条件付き一般競争入札を行うので、地方自治法施行令（昭和22年政令第16号）第167条の6第1項の規定により、公告する。なお、この公告に掲げるもののほか、この入札に必要な事項については、建設工事の条件付き一般競争入札における各入札に共通して必要となる事項について（平成23年富山市入札公告第130号）による。

令和3年6月7日

富山市長 藤井裕久

工 事 名	畑中1号橋外1橋架替工事
工 事 場 所	富山市五福地内
工事完成期限	令和4年3月11日
工 事 概 要	畑中1号橋 ボックスカルバート工（B2300×H1100） 延長L=18.0m 地盤改良工N=1式、排水構造物工N=1式、 橋梁附属物工N=1式、構造物取壊工N=1式、 道路復旧工N=1式、仮設工N=1式 村西橋 ボックスカルバート工（B2300×H1100） 延長L=9.1m 排水構造物工N=1式、橋梁附属物工N=1式、 構造物取壊工N=1式、道路復旧工N=1式、 仮設工N=1式
入 札 方 式	条件付き一般競争入札 総合評価落札方式（簡易型Aタイプ） この入札は、入札価格と入札価格以外の技術的な要素を総合的に評価する総合評価落札方式による。

予 定 価 格	87,220,000円 (消費税及び地方消費税額を含まない。)	
審 査 基 準 日	入札参加資格の審査は、令和3年6月18日時点の事実をもって行うものとする。	
入 札 参 加 資 格	地 域	主たる営業所が富山市の区域内にあること。
	業 種	土木
	総合点数等	入札参加資格決定通知書で通知された土木工事の総合点数が1,070点以上であること。
	施 工 実 績	平成18年4月1日以降に官公庁等発注の土木一式工事の元請として、この工事の予定価格の3割以上の金額の施工実績があること。
	配置技術者	<p>1 1級土木施工管理技士と同等の資格を有する者（以下「1級土木施工管理技士等」という。）を配置できること。ただし、契約金額が3,500万円以上となる場合は、専任で配置することとし、その配置技術者は、建設業法第7条第2号及び第15条第2号に規定する営業所ごとに専任で配置する技術者（以下「営業所専任技術者」といい、当該工事の業種以外の業種の営業所専任技術者を含む。）でないこと。</p> <p>2 4,000万円以上の下請契約を締結して工事を施工する場合は、監理技術者（監理技術者資格者証及び監理技術者講習修了証を有する者又はこれに準ずる者をいう。）の資格を有する者を専任で配置することとし、その配置技術者は、営業所専任技術者でないこと。</p> <p>3 契約時において、1の前段の配置技術者は他の工事の専任技術者でないこととし、また、1のただし書及び2に規定する配置技術者は他の工事に配置されている者でないこと。ただし、1の規定による配置技術者が平成26年2月3日付け国土建第272</p>

	号「建設工事の技術者の専任等に係る取扱いについて（改正）」により、建設業法施行令第27条第2項の当面の取扱いの適用（以下「専任等の当面の取扱いの適用」という。）を受けることができる場合は、この限りでない。
調査基準価格を下回る価格で契約を締結する場合の配置技術者	<p>1 契約金額が3,500万円未満の場合</p> <p>1級土木施工管理技士等を専任で配置することとし、その配置技術者は、営業所専任技術者でないこと。なお、専任等の当面の取扱いの適用については認めない。</p> <p>2 契約金額が3,500万円以上の場合</p> <p>1級土木施工管理技士等を専任で2名配置することとし、いずれの配置技術者も、営業所専任技術者でないこと。なお、専任等の当面の取扱いの適用については認めない。</p>
その他	4,000万円以上の下請契約を締結して工事を施工する場合は、土木一式工事についての特定建設業の許可を受けていること。
入札及び契約を担当する課	富山市財務部契約課
契約条項等の閲覧期間	令和3年6月7日から同月18日まで （日曜日、土曜日及び休日を除く。）
設計図書に対する質問期間	令和3年6月7日から同月14日まで
質問に対する回答期限	令和3年6月16日
総合評価落札方式に関する事項	<p>（1）総合評価の方法</p> <p>ア 総合評価の方法は、次の式により算出して得られる数値（以下「評価値」という。）をもって行うものとする。</p>

評価値＝技術評価点÷入札価格

＝（標準点＋技術加算点）÷入札価格

（注）入札価格の単位は、100万円とし、評価値の有効数字は、5桁（6桁目の数字を四捨五入）とする。

イ 標準点とは、100点を満点とし、要求する要件を最低限満たしている技術提案等について与える点数をいう。

ウ 技術加算点とは、20点を満点とし、（2）の評価項目及び評価基準により算出される点数の合計（160点満点）を、次の式により20点満点に換算した点数をいう。なお、技術加算点は、小数第三位を四捨五入し、小数第二位止めとする。

技術加算点＝各企業の点数×技術加算点の満点÷
配点点数の満点

（2）評価項目及び評価基準

ア 簡易な施工計画

課題	優	標準	不可	配点	備考
簡易な施工計画	10 点/項目	5 点/項目	0 点/項目	50点	5項目×10点=50点
材料の品質管理に係る技術的所見					
施工上の課題に対する技術的所見 (2項目)					
施工上配慮すべき技術的所見					
工程管理に関する技術的所見	配点計			50点	

イ 企業の施工能力

評価項目	評価内容	評価基準	配点	備考
企業の施工能力	過去一定期間の土木工事の実績の有無 (原則として市発注工事)	あり	10点	(1) 一定期間とは、平成29年4月1日から申請日までの期間をいう。 (2) 工事の実績の有無は、一定期間に完成した工事の有無とする。 (3) 契約額が300万円未満の工事は、実績と認めない。 (4) 市発注工事の実績がない場合は、国土交通省、農林水産省若

		なし	0点	しくは林野庁(以下、これらを総称して「国」という。)又は県が発注した市内工事を認める。 この場合、期間については、平成29年4月1日から令和2年3月31日までとし、契約額が500万円未満の工事は実績と認めない。
工事成績	過去一定期間の工事成績評定点の平均点(注1) (原則として市発注工事)	80点以上	15点	(1)平成29年度から令和2年度までの土木工事の工事成績を平均したものとす。 (2)市発注工事の実績がない場合は、国又は県が発注した市内工事を認める。この場合、期間については、平成29年4月1日から令和2年3月31日までとする。
		80点未満 75点以上	10点	
		75点未満 70点以上	5点	
		70点未満	0点	
優良表彰	過去一定期間に、同種の優良工事表彰の有無	知事賞・部長賞・最優秀賞	10点	土木工事に関して、令和元年度又は令和2年度に富山県建設優良工事等(注2)の表彰を受けたことがあるものとする。 (ただし、最優秀賞、優秀賞及び良賞は、富山市内で施工された工事に限る。)
		優秀賞・良賞	5点	
		なし	0点	
配点計			35点	

注1 工事成績評定点の平均点は、小数第一位を四捨五入して得られる整数により加点する。

注2 富山県建設優良工事等の表彰とは、富山県建設優良工事(土木部・農林水産部)、富山土木センター管内優良土木工事、立山土木事務所管内優良土木工事又は富山農林振興センターの表彰である。

ウ 配置予定技術者の能力

評価項目	評価内容	評価基準	配点	備考
配置予定技術者の能力	主任(監理)技術者としての過去一定期間の同種工事の実績の有無 (原則として市発注工事とし、低入札に伴う担当技術者としての工事成績は対象外とする。)	あり	10点	(1)一定期間とは、平成29年4月1日から申請日までの期間をいう。 (2)工事の実績の有無は、一定期間に完成した工事の有無とする。 (3)契約額が300万円未満の工事は、実績と認めない。 (4)市発注工事の実績がない場合は、国又は県が発注した市内工事を認める。 この場合、期間については、平成29年4月1日から令和2年3月31日までとし、契約額が500万円未満の工事は実績と認めない。
		なし	0点	
工事成績	主任(監理)技術者としての過去一定期間の同種工事の成績評定点の平均点(注1) (原則として市発注工事とし、低入	75点以上	10点	(1)平成29年度から令和2年度までの土木工事の工事成績を平均したものとす。 (2)市発注工事の実績がない場合は、国又は県が発注した市内工事を認める。この場合、期間については、平成29年4月1日から令和2年3月31日までとする。
		75点未満 70点以上	5点	

	札に伴う担当技術者としての工事実績は対象外とする。）	70点未満	0点	
主任（監理）技術者の保有する資格		1級国家資格者又は技術士	10点	1級国家資格者と同等の能力を有すると認められるもの（国土交通大臣特別認定者）を含む。
		上記資格なし	0点	
配点計			30点	

注1 工事成績評定点の平均点は、小数第一位を四捨五入して得られる整数により加点する。
 ※申請時において、配置予定技術者を特定できない場合は、複数の技術者について様式4及び様式5の提出を認める。この場合、各評価項目の合計点数が最も低い者の合計点数をもって配点する。

エ 企業の地域性・社会性

評価項目	評価内容	評価基準	配点	備考	
企業の地域性・社会性	災害協定	災害協定への参加の有無	あり	10点	富山市と「災害時における応急対策業務に関する協定」等を締結している欄外に記載の協会等の会員であること。
		なし	0点		
	除雪協力	過去2か年度の受託実績の有無	道路又は歩道除雪の機械と操作者の提供（2年）	20点	過去2か年度とは、入札公告日の属する年度及びその前年度とする。（ただし、入札公告日が11月30日以前の場合は、入札公告日の属する年度の前2か年度とする。）
			道路又は歩道除雪の機械と操作者の提供（1年）及び道路又は歩道除雪の操作者の提供（1年）	15点	
			道路又は歩道除雪の操作者の提供（2年）	10点	
			道路又は歩道除雪の機械と操作者の提供（1年）		
			道路又は歩道除雪の操作者の提供（1年）	5点	
			なし	0点	
	浸水対策協力	入札公告日の属する年度の前年度における排水ポンプ車運転作業業務の出動及び点検実績の有無	出動及び点検実績あり	10点	
			点検実績あり	5点	
なし			0点		

チーム富山市	温暖化防止に取り組む「チーム富山市」の参加	参加	5点	富山市環境部環境政策課がCO2削減の施策として企画している「チーム富山市」への参加の有無
		不参加	0点	
配点計			45点	

- ・災害時における応急対策業務に関する協定(富山市建設業協会)
- ・災害時における応急活動の協力に関する協定(富山市管工事(協))
- ・大規模災害における建築物等の解体撤去の実施に関する協定((社)富山県構造物解体協会)
- ・災害時における応急対策業務に関する協定(富山市電業協会)
- ・災害時における応急対策業務に関する協定((社)斜面防災対策技術協会富山支部)
- ・災害時における応急対策業務に関する協定(富山県地質調査業協会)
- ・災害時における応急対策業務に関する協定(富山造園業協同組合)
- ・災害時における廃棄物の処理に関する協定(富山市一般廃棄物収集運搬業協会)
- ・災害時における応急対策業務に関する協定(富山県電気工事工業組合)
- ・地震災害時における被災建築物の応急対策活動の協力に関する協定(富山県建築士事務所協会)

提出書類	<p>入札の際、建設工事の条件付き一般競争入札における各入札に共通して必要となる事項について4(1)ア、イ、ウ、エ及びオに掲げる提出書類のほか、富山市公共工事総合評価落札方式試行要領の技術資料様式第2号の1、第2号の2、第3号、第4号及び第5号に表紙(技術資料様式第6号)をつけて、電子入札システムで提出すること。</p> <p>※技術資料様式第3号及び技術資料様式第4号の「施工実績」について、CORINSに未登録の場合は、契約書等の写しを入札書の受付締切日時までに、持参又はFAXで富山市契約課へ提出すること。</p>
入札の方法	富山市電子入札システムによる電子入札
入札書の受付締切日時	令和3年6月18日午後5時00分
開札日時及び場所	令和3年6月22日午前9時30分から 富山市役所東館4階入札室
調査基準価格	有(失格基準を適用する。)
落札者の決定方法	<p>(1) 落札者は、次の要件を満たす入札参加者のうち、評価値が最も高い者とする。</p> <p>ア 入札価格が予定価格を超えていないこと。</p>

	<p>イ 評価値が、次の式により算出して得られる基準評価値を下回っていないこと。</p> $\text{基準評価値} = 100 \text{点 (標準点)} \div \text{予定価格}$ <p style="text-align: right;">(単位：百万円)</p> <p>(2) 評価値の最も高い者が2者以上あるときは、入札価格が低い者を落札者とする。</p> <p>(3) 落札者となるべき者の入札価格が調査基準価格を下回る場合には(1)及び(2)の規定にかかわらず、富山市低入札価格調査制度実施要領に基づく審査を行い、落札者を決定する。</p> <p>(4) 総合評価方式の試行対象工事であるこの入札については、入札心得のうち、落札者の決定に関する規定は、適用しない。</p>
<p>工 事 代 金 支 払 条 件</p>	<p>前金払 有 部分払 有</p>
<p>そ の 他</p>	<p>(1) 入札参加申請書その他の入札に参加するに当たって提出を求める書類(以下「申請書等」という。)の作成に要する費用は、申請者の負担とする。</p> <p>(2) 提出された申請書等は、当該工事に係る入札以外の目的には使用しない。</p> <p>(3) 提出された申請書等は、返却しない。申請書等の差替えは認めない。</p>

畑中1号橋外1橋架替工事仕様書
（「簡易な施工計画」の課題の趣旨、留意事項）

○総合評価方式に関する事項

（1）「簡易な施工計画」における課題の設定の趣旨、留意事項等

ア 課題

- | |
|-------------------|
| ① 材料の品質管理に係る技術的所見 |
| ② 施工上の課題に対する技術的所見 |
| ③ 施工上配慮すべき技術的所見 |
| ④ 工程管理に関する技術的所見 |

イ 課題設定の趣旨

① 材料の品質管理に係る技術的所見

・畑中1号橋について、通行止めや車線減少の措置がもたらす社会的影響が大きいことから、現況の車線を確保したうえでの施工とする。よって、ボックスカルバート据付は、分割施工となり、カルバート下の基礎材料の施工方法や測量、据付方法の工夫により、不同沈下等が生じないように、現地条件を把握しながら、施工する必要がある。

② 施工上の課題に対する技術的所見

・畑中1号橋について、開削作業時に使用する仮設鋼矢板の施工に際して、地下埋設物、沿線建造物、地盤等の現場状況に考慮する必要がある。
・畑中1号橋が通る市道神通町安養坊線は、バス路線に設定され、自動車交通量も多く、ボックスカルバート据付時に、朝夕の渋滞時間を避けた搬入出路、施工ヤードの交通計画が必要である。

③ 施工上配慮すべき技術的所見

・畑中1号橋が通る市道神通町安養坊線は、富山大学附属小学校、中学校の主要アクセス路線であり、架替工事中も、通学路であることから、児童等が安全に通行できるよう配慮が必要である。

④ 工程管理に関する技術的所見

・畑中1号橋下の新江用水の減水期間である10月から3月までの制約がある約半年間で、既設橋撤去から、地盤改良、ボックスカルバート据付、道路復旧までが完了する、他の関連工事も含めた全体工程として、周到な計画を立案する必要がある。

ウ 記載にあたっての前提条件

① 材料の品質管理に係る技術的所見

・畑中1号橋架替工事の基礎材料について、NTT管が埋設されている箇所は、マットレス工を採用する。地盤改良材は、湧水を考慮し、再生砕石を採用する。また、ボックスカルバート据付前、所要の地耐力を有しているか、分割施工の区間毎に確認試験を実施する。

② 施工上の課題に対する技術的所見

・畑中1号橋下の新江用水右岸に埋設されているガス管（中圧管）、新江用水を横断するNTT管、下水管は、移設不可であり、鋼矢板打設時に立会を想定している。

③ 施工上配慮すべき技術的所見

・畑中1号橋工事にあたり、現況の車線数を確保し、歩道について少なくとも片側に確保する。

④ 工程管理に関する技術的所見

・畑中1号橋下の新江用水は、冬季に消雪の取水利用されており、水路を遮断することなく、水中ポンプで通水する。他の関連工事は、ガス管（低圧管）をボックスカルバート伏せ越しとなる。

エ 各課題に対する回答数及び配点

課 題	回答数		配 点	
① 材料の品質管理に係る技術的所見	1 項目	5 項目	5 項目×10 点 =50 点	50 点
② 施工上の課題に対する技術的所見	2 項目			
③ 施工上配慮すべき技術的所見	1 項目			
④ 工程管理に関する技術的所見	1 項目			

オ 記載にあたっての留意点

- ・①及び③、④の課題は、ひとつの課題に対して回答する項目数は1項目、②の課題に対して2項目回答すること。
- ・②の課題の回答数は上記項目を限度とし、改題に対して指定した項目数を超える回答があった場合は、すべてを無効とする。
- ・④の課題は、簡易な工程表を作成の上、工程上の工夫を箇条書きで簡潔にまとめること。
- ・①～③の課題は各項目の記載にあたっては、箇条書きで簡潔にまとめること。

カ 落札者決定基準

①配点及び加点方法

判 定	項目ごとの配点	配 点 の 合 計	
優	10 点	5 個×10 点	50 点
標 準	5 点		
不 可	0 点		

②評価基準

課 題	評 価 基 準	
① 材料の品質管理に係る技術的所見	品質確保の観点から、ボックスカルバート据付時の基礎材料や測量方法の工夫について。	優
		標準
		不可
② 施工上の課題に対する技術的所見	開削作業時に使用する仮設矢板の留意事項について。 ボックスカルバート施工時の朝夕の渋滞時間を避けた交通規制計画について。	優
		標準
		不可
③ 施工上配慮すべき技術的所見	通学する児童や歩行者等の第三者への安全対策について。	優
		標準
		不可
④ 工程管理に関する技術的所見	用水の減水期間である10月から3月までの約半年間に留意した工程管理について	優
		標準
		不可

※金銭的負担の大きい物理的対策等による工夫については、評価しないことを原則とする。

(2)総合評価方式に係る事項に関する質問及び回答

ア 質問の受付期間及び回答 公告のとおり

イ 当該質問及び回答が他の者に影響を及ぼすと認めるときは、その概要を富山市財務部契約課ホームページにて公表する。

簡易な施工計画

(施工上の課題に対する技術的所見)

工事名: _____

会社名: _____

■施工上の課題	
---------	--

項 目(課 題)	具 体 的 な 施 工 計 画

注) 1 簡易な施工計画は本様式を用いて、1枚で簡潔に記述してください。
2 必要に応じて構造図等を添付してください(枚数制限はありません。)
(構造図等を添付される場合の提出方法は、事前に富山市契約課に問い合わせしてください。)

企業の施工能力及び地域性・社会性(土木工事)

工事名: _____ 会社名: _____

同種工事の施工実績	工 事 名	
	発 注 機 関 名	
	施 工 場 所	
	工 期	
	契 約 金 額 (円)	
	受注形態	単体・共同企業体の別
		出 資 比 率
	工 事 概 要	
	CORINS登録の有無	有(CORINS登録番号) ・ 無

優良表彰	富山県建設優良工事等の表彰の有無	有(受賞年度・賞名・工事名) ・ 無
------	------------------	---

	対象年度	契約内容	数値	○印欄	
除雪協力	対象年度において、富山市と除雪業務について右の内容の契約をしている場合は、該当する○印欄に○を記入してください。 ※ 稼動実績の有無は問いません。 ※ 各年度のaまたはbを選択(a、b両方の実績がある場合はaを選択)してください。	入札公告日の属する年度(入札公告日が11月30日以前の場合は、入札公告日の属する年度の前年度)	a.自社の機械で道路又は歩道除雪業務を実施する(機械及びオペレーターの提供)。	10	
			b.市から貸与された機械で道路又は歩道除雪業務を実施する(オペレーターの提供)。	5	
		入札公告日の属する年度の前年度(入札公告日が11月30日以前の場合は、入札公告日の属する年度の前々年度)	a.自社の機械で道路又は歩道除雪業務を実施する(機械及びオペレーターの提供)。	10	
			b.市から貸与された機械で道路又は歩道除雪業務を実施する(オペレーターの提供)。	5	

災害協力	該当する場合は、○印欄に○を記入してください。	富山市と「災害時における応急対策業務に関する協定」等を締結している協会等(富山市建設業協会、富山市管工事協同組合、富山県構造物解体協会、富山市電業協会、斜面防災対策技術協会富山支部、富山県地質調査業協会、富山造園業協同組合、富山市一般廃棄物収集運搬業協会、富山県電気工事工業組合、富山県建築士事務所協会)の会員であること。	10	
------	-------------------------	---	----	--

浸水対策協力	該当する場合は、○印欄に○を記入してください。	入札公告日の属する年度の前年度において、排水ポンプ車運転作業業務(上下水道局においては、雨水幹線巡視業務又は低地排水業務)の出動及び点検(上下水道局においては、緊急対応訓練参加)実績があること。	10	
		入札公告日の属する年度の前年度において、排水ポンプ車運転作業業務(上下水道局においては、雨水幹線巡視業務又は低地排水業務)の点検(上下水道局においては、緊急対応訓練参加)実績があること。	5	

チーム富山市	該当する場合は、○印欄に○を記入してください。	富山市環境部環境政策課がCO2削減の施策として企画している「チーム富山市」に参加していること。	5	
--------	-------------------------	---	---	--

- 注) 1 契約金額については、最終請負金額(税込み)を記載してください。
 2 施工実績工事の内容はCORINSにて確認しますが、CORINSに未登録の場合は、契約書、一般図等、施工実績工事の内容が的確に判断できる必要最小限度の資料を、入札書の受付締切日時までに、持参又はFAXで提出してください。 FAX:076-431-7665
 3 除雪協力については、契約書等の写しの添付は、必要ありません。

配置予定技術者の能力

工事名: _____

会社名: _____

配置予定技術者の 従事役職・氏名		〇〇技術者 〇〇 〇〇
法令による 資格	資格名	
	取得年月日	
	登録番号	
同種工事の 施工実績	工事名	
	発注機関名	
	施工場所	
	工期	
	契約金額(円)	
	受注形態	単体/JV
	従事役職	主任技術者、監理技術者等
	工事概要	
	CORINS登録の有無	有(CORINS登録番号)・無

- 注) 1 法令による資格欄には、総合評価で評価される一級国家資格又は技術士の資格について記載してください。
- 2 資格者証の写しの添付は、必要ありません。
- 3 施工実績工事の内容はCORINSにて確認しますが、CORINSに未登録の場合は、契約書、一般図等、施工実績工事の内容が的確に判断できる必要最小限度の資料を、入札書の受付締切日時までに、持参又はFAXで提出してください。 FAX:076-431-7665
- 4 簡易型Bの場合、「同種工事の施工実績」については、記入する必要はありません。
- 5 申請時において、配置予定技術者を特定できない場合は、複数の技術者について提出を認めます。この場合、各評価項目の合計点数が最も低い者の合計点数をもって配点します。
- 6 低入札に伴う担当技術者(追加配置技術者)としての工事实績は、対象外とします。

配置予定技術者の工事成績算出対象工事

工事名： _____

会社名： _____

発注年度	工事名(工事番号)	発注機関	施工場所	工期	契約金額

- 注) 1 発注年度の前4ヶ年度及び公告日までに完成した工事の実績について、漏れなく記載してください。(国・県発注工事を認める場合は、公告文のとおりです。)
- 2 工事の実績は、同種工事を記載してください。
- 3 申請時において、配置予定技術者を特定できない場合は、複数の技術者について提出を認めます。この場合、各評価項目の合計点数が最も低い者の合計点数をもって配点します。
- 4 低入札に伴う担当技術者としての工事实績は、対象外とします。

(宛先) 富 山 市 長

住 所
商号又は名称
代表者氏名

下記工事の技術提案資料を提出します。なお、添付の資料の内容については、事実と相違ないことを誓約します。

記

工 事 番 号 :

工 事 名 :